

福岡からUターン。システムエンジニアから漁師に転身!

新松浦漁業協同組合 よろずともゆき 萬 知幸さん 41歳

漁業歴16年

萬さんは、船びき網漁業と煮干加工業を営まれています。

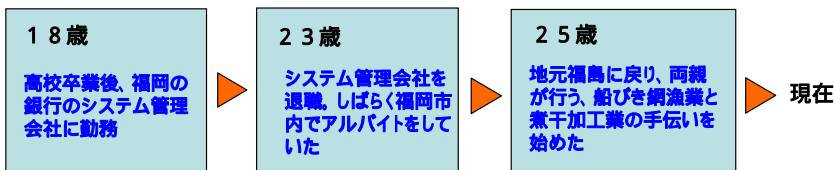
萬さんは、伊万里湾に点在する島の一つ松浦市福島で父、母とともに、船びき網漁業と、獲れたシラス（イワシの子供）の煮干加工業を営んでいます。子供のころから漁業を身近に感じながら育ち、高校卒業後、福岡で銀行のシステム管理会社に勤めていましたが、高齢な親が心配なこと、なによりも漁業のことが忘れられず、郷里にUターンしてきました。
地元若手漁業者のリーダーで、県から「青年漁業士」の認定を受け、日夜地元漁業発展のため奮闘しています。趣味は、ロードバイク。



地図

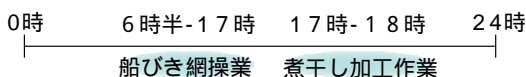


経歴



萬さんの操業スケジュール

船びき網操業スケジュール



船びき網漁業について

船びき網漁業とは、1そう（または2そう）の船で網をひき、海の中の表層付近にいるシラス（カタクチイワシやマイワシの子供）を獲る漁業です。天候や漁模様にもよりますが、朝6時半頃に出港、帰港は17時頃となります。主に父と私で1回当たり2時間程度網をひき、それを1日4回ほど繰り返します。

港に帰った後は、シラスの鮮度が落ちないうちに煮干加工を行います。この作業は主に母が受け持ちます。シラスを獲るのも大変ですが、シラスを釜で煮て、乾燥させる加工作業もなかなか重労働ですよ。高齢の母が心配です。

シラスの盛漁期は10～12月で、この時期はシケが多く、出漁できない日が結構あります。歯がゆいですが、自然相手の仕事なので、仕方がありません。

それでも、自分が頑張っただけ収入という目に見える形で跳ね返ってくる、とてもやりがいがある仕事だと思っています。

シラスの煮干加工行程



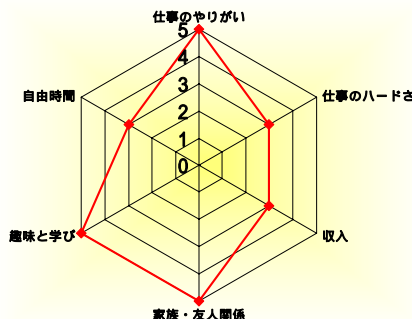
余暇の過ごし方



この雄姿で嫁をゲット!

盛漁期は1日中働いていて、自由時間はあまりありません。盛漁期以外やシケた日には時間があり、そんなときはロードバイクに乗っています。愛車のBASSO（パツソ）というイタリア製のロードバイクで、地元福島を1周1時間ほどで回り、気持ちよい汗を流しています。また、家族でゆっくり過ごしたり、時には、友達とワイワイ騒いだりしています。福岡にいた頃より、体力的にはきついです、精神的にはかなりゆったりしており、自分に合っていると思います。

萬さんの本音チャート



妻の声

福岡県の出身ですが、毎日おいしい魚が食べられ楽しく過ごしています。周辺の生活環境も良く、子供も生まれたので主人にはもっと頑張って働いてほしいです。

これから漁業就業を目指す方へ

漁業で生計を立てることは、中途半端な気持ちではとてもできません。だからと言って、漁業経験の無い人が迷ったり、苦しんだりすることは、あたりまえのこと。とにかくあきらめずに続けることが大事。私は子供のころから船に乗っていたのですが、体質的に船に弱く、最初はかなり苦しかったことを覚えています。漁業に興味のある方は、私たちの仲間になりませんか!